

日本コミュニケーション障害学会 言語発達障害研究分科会 2月の定例セミナー

子どもの文レベルの問題とナラティブ評価

子どもの言語の問題は、最初ことばの遅れとして生じますが、「問題が時間的なものだけでない」ことは日常の臨床、そして研究からも明らかになっています。しかし、子どもの言語の問題は、従来の検査で得た数値だけでは十分に示せてはいない、と現場で感じてらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、あらためて子どもの言語の問題を、ナラティブ再生法を用いて明らかにしていく方法を紹介し、事例を通して一緒に考えていきたいと思えます。

今回のセミナーでは以下の内容を予定しております。

Contents

1. 学習言語のひとつであるナラティブを用いた評価について
(分科会代表 田中裕美子)
2. ナラティブ評価を用いた事例報告(2題)
3. 2017年日本コミュニケーション障害学会学術講演会ワークショップにて配布したナラティブ評価使用者へのフィードバック
4. 今後の方向性と参加者とのディスカッション



今まで分科会で提案してきたナラティブ再生を用いた言語評価法は、子どもの文レベルの問題を多角的かつ的確に評価し、より効果的な指導に繋げることができるようにとの思いで開発されたものですが、それを参加者の皆様とともにさらに発展させて参りたいと考えております。多くの皆様のご参加、心よりお待ち申し上げます。

日時：2018年2月4日(日) 10時～15時30分
場所：東京医科大学病院 新教育研究棟3階大教室(地図参照)
参加費(当日払い)：会員3,000円 非会員5,000円 学生1,000円

分科会メンバー：

田中裕美子・青木さつき・入山満恵子・瀬川幸子・遠藤俊介・松浦千春・金屋麻衣
野波尚子・内山千鶴子・早川薫・遠藤理紗・長谷川史弥・秋元瑞帆・伊藤敬市

お申込み〆切:1月31日(水)まで (定員になり次第〆切)

お申込みはe-mailでお願いいたします。お名前、ご所属、連絡先、コミュニケーション障害学会の会員番号がある方は番号をご記入の上、gengo.hattatsu.bunkakai@gmail.com (担当:松浦千春)までお送り下さい。なお、お申し込みをされた方には確認のため後日e-mailにて返信いたします。

また、万が一お申し込みから一週間以内に返信のない場合や、ご不明な点などありましたら<090-9100-5881> (松浦)までご連絡ください。



会場アクセス

- 徒歩 新宿駅西口より約 10 分
- タクシー 新宿駅西口より約 5 分
- 地下鉄 新宿駅より東京メトロ丸の内線「西新宿駅」下車 2 番出口または E5 番出口よりすぐ
新宿駅より都営大江戸線「都庁前駅」下車 A7 番出口より徒歩 7 分

会場地図

- 東京都新宿区西新宿 6-7-1 東京医科大学病院
新教育研究棟 3 階大教室

